

「祇榊講定宿附」 (道中案内記)



祇神講定宿帳

御師

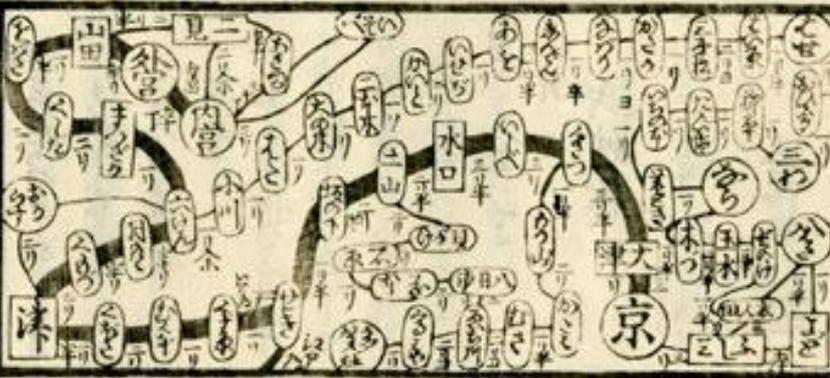
内宮 欄千太夫  
 太節籠太夫  
 外宮 岡村亦太夫

永代両宮 京講元  
**祇神講**  
 太々御神樂 世話方

口價

一道中筋生を看平休所小  
 ひろくの目印かひをさる  
 是を月高千を流湯をみ  
 流半丁を世を流すとい  
 一人筋のそたを流すを夫

伊勢参宮三社廻之略首



伊勢道中宿附

旅泊三條大橋より

素谷休 湯屋金助

林井屋をまら  
 休弓や倉右ら

中へ休屋敷や丸まら

とら井林のや市を

大津 橋の宿 林井屋をまら

休 交をせふ舟のりや

三 休 或休へふや市を

二 休 舟のりや市を

半 休 舟のりや市を

休 舟のりや市を

坂の下 合休 越後守半  
宿 赤や橋たう

半リ一 半宿 山形 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

せき 宿 赤や橋たう  
一リ 宿 赤や橋たう

二 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

二 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

リ 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

二 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

リ 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

久保田 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

一 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

半 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

津 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

一 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

二 宿 赤や橋たう  
宿 赤や橋たう

一 此さき左に高田山一身田御門跡  
あり 参詣のせつハかけぬけ也  
津の入口左に江戸橋あり 江戸  
かいだう 白子へわかれ道なり

津 やくしまへ  
一 宿 なべや久左衛門

宿 ひやうたんや宗助

急んま堂前

休 大黒屋藤兵衛